



107

2018年(平成30年)  
10/19 発行  
あなたと議会のかけ橋に

苓北町議会だより

# きずな



世界一の陶石の産地  
第30回天草西海岸 窯元めぐり

### 主な内容

- 臨時会・定例会 ……2~5
- 一般質問 ……6~14
- 町民の声 ……15

発行 苓北町議会 TEL35-1111  
編集 広報委員会



町花「はまゆう」

## 議会日誌

※主なものを載せています



町木「ツバキ」

### 7月

- 23日 天草・出水県際交流促進協議会総会
- 24日 天草広域連合議会運営委員会
- 25日 町民福祉常任委員会
- 31日 熊本県町村議会議長会 理事会

### 8月

- 7日 第20回苓北町議会臨時会
- 8日 天草広域連合第3回定例会
- 24日 天草地域国県道路整備促進期成会総会
- 27日 議会運営委員会
- 30日 天草ジオパーク推進協議会

### 9月

- 7~14日 第21回苓北町議会定例会  
決算審査特別委員会(11~13日)
- 22日 第6回関西天草交流会
- 14・25日 広報委員会

### 10月

- 4日 熊本県町村議会議員研修会
- 2・5・10日 広報委員会
- 16~17日 熊本県町村議会議長会  
理事・郡事務局長合同会議

次の定例会は

## 12月

です。  
皆様の傍聴をお待ちしております。  
9月定例会の傍聴者は、  
**119人**でした。

議事録は『苓北町役場ホームページ』  
<https://reihoku-kumamoto.jp/gikai-gijiroku/>  
で閲覧できます。

## “定例議会の一般質問がインターネットで聞けます”

議会質疑応答・音声

議会事務局

各課からの案内

苓北町ホームページ

上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。

編集後記

秋分の日が近づくとつれて少し過ぎ  
ごしやすくなってきた。  
それにしても今年の夏は暑かった  
まさに酷暑の連続であった。  
生活環境を語る時よく使われる言  
葉の一つに「私たちの時代はこうだ  
った」と言われるがこの言葉が通用  
しないどころかその年代の人々が最  
初にこの言葉を封印したように思え  
る。

議会でも、本会議及び決算審査特  
別委員会で熱い意見が執行部との間  
で交わされた。

田畑の畦畔では、あちこちに赤い  
彼岸花が咲いている。時が過ぎ次は、  
気持ちの中では、どのような色の花  
が苓北町では咲くのだろうか。

次回の補正や新年度の予算では少  
しゆとりがあり、過ごしやすいう算  
の組み立てとなることを願う。

(9月中旬)  
議会広報委員会



※として保存しましょう。

議会だより きずな

●発行/熊本県苓北町議会 〒863-2503 熊本県天草郡苓北町志岐660 TEL0969-35-1111  
●印刷/株印刷センター 〒863-2114 熊本県天草市五和町城河原2-73 TEL0969-28-6700

平成30年度 第21回議会定例会 開催日：9月7日～14日

**条例が改正されました**

法律の改正等により、4件の条例改正案等が、全員賛成により可決しました。

○茶北町税条例等の一部を改正する条例

主な内容

- 個人町民税の基礎控除等の見直しに係る規定の整備
- 固定資産税のわがまち特例の追加
- 大法人の法人町民税に係る電子申告の義務化

町たばこ税率の段階的引き上げと加熱式たばこの課税方式の見直し

○茶北町国民健康保険高額医療費資金貸付基金条例を廃止する条例

主な内容

- 本制度の代替措置として国民健康保険高額療養費委任払実施要綱を制定し対応す

○熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

主な内容

- 熊本県後期高齢者医療広域連合議員を構成全市町村の長又は議会の議員により組織するよう変更【同文議決】

○茶北町議会委員会条例の一部を改正する条例

主な内容

- 議会常任委員会の数を3委員会から2委員会に、委員の定数を4人から6人に改正

**坂瀬川財産区管理委員会に選任が決まりました**

錦戸 幸春氏（坂瀬川）



提案された議題についてはすべて原案のとおり可決しました。

【補正予算】 (単位：千円)

| 議案等    | 項目                        | 補正額     | 補正後の予算額   | 備考                  | 賛否   |
|--------|---------------------------|---------|-----------|---------------------|------|
| 議案第45号 | 平成30年度一般会計(第4号)           | 321,849 | 5,087,377 | 前年度繰越金・国庫負担金・災害復旧費他 | 全員賛成 |
| 議案第46号 | 平成30年度坂瀬川財産区特別会計(第1号)     | 854     | 19,737    | 前年度繰越金              | 全員賛成 |
| 議案第47号 | 平成30年度都呂々財産区特別会計(第1号)     | 1,043   | 50,876    | 前年度繰越金              | 全員賛成 |
| 議案第48号 | 平成30年度国民健康保険特別会計(第1号)     | 52,601  | 1,182,944 | 前年度繰越金              | 全員賛成 |
| 議案第49号 | 平成30年度介護保険特別会計(第1号)       | 29,424  | 945,664   | 前年度繰越金・基金積立金他       | 全員賛成 |
| 議案第50号 | 平成30年度後期高齢者医療特別会計(第1号)    | 3,424   | 118,122   | 前年度繰越金・システム改修委託料他   | 全員賛成 |
| 議案第51号 | 平成30年度水道特別会計(第1号)         | 2,919   | 215,767   | 前年度繰越金・一般管理費他       | 全員賛成 |
| 議案第52号 | 平成30年度下水道特別会計(第2号)        | 2,772   | 374,468   | 前年度繰越金・一般管理費他       | 全員賛成 |
| 議案第53号 | 平成30年度農業集落排水特別会計(第1号)     | 469     | 18,365    | 前年度繰越金・一般管理費他       | 全員賛成 |
| 議案第54号 | 平成30年度特定地域排水処理事業特別会計(第1号) | 1,115   | 47,610    | 前年度繰越金・一般管理費他       | 全員賛成 |
| 議案第55号 | 平成30年度宅地造成事業特別会計(第1号)     | 279     | 7,373     | 前年度繰越金              | 全員賛成 |

【請負契約】

| 議案等    | 件名                     | 契約の相手方   | 請負金額(円)     | 賛否   |
|--------|------------------------|----------|-------------|------|
| 議案第56号 | 森林基幹道茶北草線災害復旧工事(地滑り工事) | 前川建設株式会社 | 127,440,000 | 全員賛成 |
| 議案第57号 | 富岡浄化センター更新事業委託協定       | 日本下水道事業団 | 188,500,000 | 全員賛成 |

平成30年度 第20回議会臨時会 開催日：8月7日

提案された議題(補正予算)については、すべて原案どおり承認可決しました。(単位：千円)

| 議案等    | 項目                      | 補正額     | 補正後の予算額   | 備考              | 賛否                        |
|--------|-------------------------|---------|-----------|-----------------|---------------------------|
| 承認第10号 | 専決処分<br>平成30年度一般会計(第2号) | 18,095  | 4,593,445 | 災害復旧<br>査定委託料他  | 全員賛成                      |
| 議案第42号 | 平成30年度一般会計(第3号)         | 172,083 | 4,765,528 | 森林基幹道<br>災害復旧費他 | 賛成：7<br>反対：4(松本・石田・野崎・浜口) |

**反対討論**

【浜口議員】  
商工費、商工業振興費、商工会補助金は、町も進めている町づくり事業のひとつであり、町の事業に沿った形で民間の方が頑張つて国際大会まで出られるという快挙を挙げられた。そういった意味で、補助金というよりも報償費での予算を検討すべき。

林道施設災害復旧事業は、切り土法面が非常に高い。通行される方の安全上危険。そして、この盛土、捨て土場所には、被災箇所がすぐ隣の谷である。谷の水量検査は本当にしているのか疑問。土留め擁壁も貧弱。

処理される4万m<sup>3</sup>、5万m<sup>3</sup>あるいはもつと大量の土を適切に盛土処理するために水の処理等を十分に検討すべき。

**賛成討論**

【野崎議員】  
商工会補助金(世界大会出場旅費)については2分の1ではなく全額、町が負担をすべきだと考える。

【石田議員】  
地滑りの件だが、地元の住民はこの道路が早く完成することを願っている。不便だとの

【高戸議員】  
林道災害復旧については、集水面積、末端の排水処理等検討課題も多い。

しかしながら、地元の方々は、一刻も早い着工を望まれていると思う。いろいろな問題等々あるが、この工事は、新たな林道開設ではなく、あくまでも災害復旧事業という、査定絡みの事業である。早期の着工を望み賛成をする。

**町民福祉常任委員会**

○町内の福祉施設を視察調査しました。

①実施日  
平成30年7月25日(水)

②視察した施設  
グループホームひまわり  
都呂々保育園  
養護老人ホーム寿康園

③調査結果  
何れの施設においても利用者ニーズにあったサービス内容であると思われ、また、施設内が明るく、ゆつくりとくつろげる家庭的な雰囲気であり、利用されている方は笑顔で明るく、生き生きと生活されている様子がうかがわれました。



寿康園視察の様子

こんなことが決まりました!!

平成30年度一般会計(第3号)に対する討論

基金の現在高  
(H30.3.31現在) (単位：円)

| 基金   | 決算年度末残高       |
|------|---------------|
| 一般会計 | 1,086,464,428 |
| 特別会計 | 141,980,029   |
| 合計   | 1,228,444,457 |

町債残高の状況  
(H30.3.31現在) (単位：千円)

| 町債   | 決算年度末残高    |
|------|------------|
| 一般会計 | 7,789,265  |
| 特別会計 | 3,157,864  |
| 合計   | 10,947,129 |

平成29年度決算の状況

(単位：円)

| 区分   | 歳入決算額<br>(1)  | 歳出決算額<br>(2)  | 形式収支額<br>(1)-(2)=(3) |            |
|------|---------------|---------------|----------------------|------------|
| 一般会計 | 5,204,713,650 | 5,049,642,807 | 155,070,843          |            |
| 特別会計 | 坂瀬川財産区        | 19,017,591    | 163,500              | 18,854,091 |
|      | 都呂々財産区        | 48,561,320    | 1,117,584            | 47,443,736 |
|      | 国民健康保険        | 1,320,655,367 | 1,269,340,401        | 51,314,966 |
|      | 介護保険          | 896,628,054   | 878,143,518          | 18,484,536 |
|      | 後期高齢者医療       | 109,978,605   | 108,391,264          | 1,587,341  |
|      | 水道            | 227,908,679   | 222,988,914          | 4,919,765  |
|      | 下水道           | 348,097,733   | 345,324,539          | 2,773,194  |
|      | 農業集落排水        | 18,560,332    | 18,051,089           | 509,243    |
|      | 特定地域生活排水処理事業  | 46,624,122    | 44,998,530           | 1,625,592  |
|      | 宅地造成事業        | 4,978,680     | 4,697,708            | 280,972    |
| 合計   | 8,245,724,133 | 7,942,859,854 | 302,864,279          |            |

◎平成29年度一般会計決算の認定について 賛成8：反対3(松本、石田、浜口)

平成29年度決算審査特別委員会(9月11日～13日)

一般会計決算・特別会計決算、すべて「認定」しました。

執行部に対する要望事項

一般会計

●歳入

- ① 町税等の滞納については、負担の公平性を図るためにも引き続き努力されたい。
- ② ふるさとづくり寄附金については、返礼品の充実を図り、自主財源の確保に努められたい。
- ③ 茶北町の魅力を発信するため積極的に情報発信を行われた。また、富岡城内の交通環境整備に努め、歴史資料館については、その所蔵品の充実なども創意工夫され、入館者の増加を図りたい。

●歳出

- ① 結婚事業については、成婚に繋がるような取り組みを創意工夫し再検討されたい。
- ② 都呂々ダム共同管理費負担金については、都呂々ダムの収支等の現状を再確認し、引き続き熊本県(熊本県企業局)と負担金の見直しについて協議されたい。
- ③ 新たな宿泊施設の誘致を含めた企業誘致を積極的に行う。

い、人口減少の歯止め、雇用の確保、拡大に努められたい。

- ④ 町有施設の管理については、危険箇所を再確認し、危険個所の表示を行い、補修、危険防止に努められたい。
- ⑤ 公民館活動をはじめ、社会教育行政の充実を図られた。

特別会計

- ① 国民健康保険・後期高齢者医療特別会計
- 健康保持増進の取り組みを進められたい。
- ② 介護保険特別会計
- 介護予防について積極的に取り組まれた。
- ③ 宅地造成事業特別会計
- 分譲区画の価格の見直しを含め、販売促進の調査研究を行い、売却に努められたい。

◎意見の要旨

平成29年度一般会計決算の認定は下記理由により反対する。

※一般会計決算の認定について、少数意見報告書が提出者：浜口雅英

賛成者：松本良人・石田みどり

◎報告第6号

29年度決算における健全化判断比率等 (説明)

- ・実質公債費比率…12.0%
- ・将来負担比率…128.3%

◎報告第7号

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告 (説明)

学校教育、社会教育の施策報告とその評価。

平成29年度一般会計決算認定に対する討論

原案に反対者

松本議員

企画費(企業誘致対策費)予算16,717,000円が計上され16,388,285円の支出がなされている。私たちは、常に期待を持ちながら、この予算に望んできた。そして、予算の決定をしてきたがその成果は見られない。

また、目的外の使用があるのではないか？

今後の社会教育の重要性を訴えたが、一向に検討、改善が見られず、改善どころか衰退している所も見られる。よって、本案に反対する。

石田議員

私は一般会計全部に反対ではない。町も努力をしていただいてる事は認める。一般質問でも申したが、町民からの要望として、行政通信でもあがっていて、計画があったにもかかわらず執行されていなかった件。町長には謝罪を

原案に賛成者

浜口議員

決算の審査は、町政のチェック機関として、予算の執行と行政成果の検証は勿論、次年度以降に向けての施策の推進、財政の進め方を提言していく重要な機会。数の力だけでの行政でなく、どの様な施策が町民のためになるかを熟知し、決算を検証しなければならぬ。

私は、29年度一般会計当初予算審議に4人の賛成者を得て、「企業誘致等の産業振興、道路の舗装や維持管理、教育環境の整備等、町民の生命財産を守る事、つまり、生活に密着した項目を第一に考えた行政執行が求められるべきだ

が本予算は都市再生整備計画

原案に賛成者

山下議員

町の基幹産業である第一次産業の支援・都市再生整備計画事業による天草の要害であり、茶北町の観光の拠点でもある富岡城関連施設の整備・町民の健康保持増進のための各種検診・介護予防事業の取り組み・被災した道路、河川、港湾の復旧事業の取り組みなど、平成29年度の茶北町一般会計予算の執行は、町民に寄り添った安心して生活できる事業展開であったと考える。よって、平成29年度茶北町一般

高戸議員

私は、当初予算に反対した経緯がある。よって、日頃からは是非々々を持ち続けることが必要であると考え、定例会及び臨時議会において提出された議案に対し、賛成をする一方反対討論も行ってきた。支出の一部については、事実考えることもある。決算審査特別委員会から要望された事項について、検討を行い今後の補正及び来年度の予算に反映されることを信じ決算認定には、賛成する。

野崎議員

平成29年3月の予算審査の折には、富岡城関連施設整備の予算等は町民に対し充分な説明と理解がなされていないなどの理由により反対をした。また、今定例会でも一般質問で要望・意見等を述べたように、この富岡城関連施設についてはまだ、納得していない。しかし、平成29年度予算はすでに執行されており、9月11日から13日の3日間、厳正

田嶋議員

茶北の「里山里海」資源を活用した観光交流ブランド創造事業や都市再生整備計画事業として「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録を見据えた国指定史跡「富岡キリシタン供養碑」の駐車場整備、富岡港船客待合所の改修、富岡港からの交通二次アクセス強化等に取り組みられ、人・物の往来が盛んになるような事業となったように思う。これらをはじめ、平成29年度の茶北町一般会計予算の執行により、「町民・企業・行政」がその力を発揮できたと考える。職員もがんばっている。今後とも攻めの事業展開に期待する。よって、平成29年度茶北町一般会計決算の認定には賛成する。



倉田 明 議員

問 この事業は平成24年度から始まり総延長約1.4km、事業費約9億円が見込まれ、平成28年度完成を目指していた。すでに浜の町臨港道路と紺屋町海岸道路を結ぶ新志岐川橋も完成し、今年度は紺屋町臨港道路の一部工事が計画され、残りの紺屋町臨港道路約100m余りと、新三会

### 志岐漁港臨港道路全線開通は 新志岐川橋は通行できないか マグロ養殖企業誘致は厳しい 海藻など新たな取り組みを

川橋約38mは平成31年度以降の計画となっている。計画より遅れているが、完成時期は。町長 本年度工事の終了時点では、総延長の89%が完成し、残工事は三会川橋の上部工、紺屋町海岸の護岸工道路の舗装工事で、完成は早くして平成32年度の見込み。  
問 釜海岸から志岐八幡宮裏まで道路は完成しているが、新志岐川橋と志岐八幡宮区間を舗装し利活用できないか。  
町長 この区間の舗装を優先するが国の事業認可による。来年度当初に発注が可能か検討したい。  
再問 この区間はまだ通行できないのか。  
町長 舗装してなくても通れる。  
再問 区間にはゲートがある確認を。  
町長 確認したい。  
問 新三会川橋の町道側に仮設道路を設けられているが、車両等の安全確保のため橋完成後も仮設道路を補強し残せないか。  
町長 仮設道路は町道で、県管理の港湾施設の防潮堤でも



紺屋町海岸

### マグロ養殖企業誘致は

問 前置きになるが、平成11年6月、紺屋町、明神山両区長連名で議会に陳情書が提出された。主旨は「近年住宅も増え海岸横を生活道路として通行しているが道幅も狭く危険。これらを踏まえ明神山から紺屋町の海岸線に道路をつくり、富岡と架橋により利便性を図り、併せて高潮対策護岸の建設を要望する」の陳情書は9月議会で採択された。採択後10年経過の平成21年9月議会一般質問に、町長は「私は新産業道路づくりが永

ある。防潮堤としての性能を満たす条件の上で、今後、残す方向で県と協議を進めたい。  
年懸案でしたが、紺屋町、明神山の堤防が、補助金の適法にまだ該当し、今のまま使えろと言う国県の考え方で新たな産業、また、企業誘致ができ、その道路の必要性の中で新しい漁港関連道路を作ると言うことです。町長もその陳情を含め産業道路新設のため、マグロ養殖企業誘致等の振興策を検討されたと思うが、現在、茶北町が誘致しているマグロ養殖は人工孵化の形態であり、その過程で稚魚の生存率がきわめて低く、商業ベースに乗りつつある一方、まだ厳しいとの意見もある。  
平成28年11月28日に町長はじめ議長他5名の議員で会社訪問をされ、社長、役員の方と懇談をされているが、「出荷までの歩留まりが15%位、採算ベースは非常に厳しい」と町議会広報にある。今後、養殖技術も進歩していくと思われるが、都合では計画を断念し、新たな取り組みとして海藻等の栽培養殖の検討も必要と思われる。マグロ養殖誘致企業の動向と町の見解は。

町長 該当企業には4月、新社長への挨拶と現状を伺うため訪問した。現在、養殖事業は和歌山県の串本や長崎県の水産研究センターと協力し実施されており、採算が合うようになれば、進出いただくと考えている。  
また、現在、茶北管内での漁獲量は、ここ15年程の間に以前の3分の1の200トン前後まで落ち込み、この対策として、これまで県と沿岸市町、全漁協で組織する県栽培漁業地域展開協議会の共同放流事業により、茶北地先にマダイやクルマエビ種苗を放流し、併せて、町単独事業で、アカウニやクルマエビの種苗放流の補助も実施している。  
また、本年度から単独事業で、海藻類や貝類の増殖や養殖の実証事業を開始し、すでにアオサ養殖は近年海域を広められているが、さらに拡大に向けた海域の選定やヒジキ養殖における種苗定着の技術指導など、実証事業は県水産研究センターから海藻種苗の提供や勉強会を通して、指導助言を受け進めている。



山下時義 議員

## 任期満了に伴う 来年の町長選 田嶋町長の気持ちを伺う

問 田嶋章二町長は、平成3年に茶北町長にご就任以来、現在7期目である。  
その間、◎公共水域保全のための下水道整備◎合計特殊出生率が、過去最低の1.57に低下したのが平成2年、「少子社会は国を滅ぼす」の持論のもと、少子化対策に着手◎九州電力茶北発電所の1号機、2号機の運転開始の見守り◎天草の要害であり、茶北町の観光拠点となる富岡城の復元とその周辺整備◎資源循環型社会の構築◎単独でのまちづくりの選択◎笹尾浄水場更新工事実施の英断等々、その期、その期に尽力してこられた。  
今後とも企業誘致、雇用の確保を最重要課題として、田嶋章二町長の持てる力、知力を発揮すべきと考える。  
平成31年1月に執行が予定される茶北町長選挙についての田嶋章二町長のお気持ちを伺います。  
町長 私は、平成2年末に海の汚れは、皆さんの毎日の生活排水が原因ということ、下水道を整備して、公共水域

皆さんの方とのお約束はまだ50%  
そのことを達成するために  
次の機会にも挑戦させていただきたい  
の浄化に努めるということ、それとあわせて、少子化問題をとり上げ、大きな支持をいただき、1期目、茶北町長に当選させていただいた。  
2期目は、平成7年の九州電力茶北発電所の運転開始に伴い、九州電力との環境保全協定の見直しに着手した。  
3期目は、天草の中で平成の大合併、これにどう対応していくかという問題が浮上した。合併をしても、貢献できる地域でありたいと考え、一度、その合併協議に入ったわけだが、我々の考えと他の市町の考えがしっくりいかずに、独立大道を歩んでいくことになった。そのような中で、「少子社会は国を滅ぼす」ということを言い続けてきた。私の幼少時代には、ひとつの家庭で4、5人の子どもがいた。義務教育を終え集団就職、そのまま家業の跡を継ぐというような状況があった。

今は、自らの子どもには、高校、大学に進学させたい気持ちが強くなったと思う。そのような中で、子どもは1人か2人、というような家庭が増えてきた。人口減少、子ども数の減少が続いてきたと考える。高齢者が増えた、子どもが少なくなった、ということ、今の困った状況が出てきている。社会構造の分野分野で、「事」が成り立たなくなっていくことが考えられる。そのような中で、仕事が多いから大都市に出ていくということであるが、この数年の状況を見ると、大都市のみならず、過疎地域も、人手不足の様相が出てきているようだ。諸々の就業産別で、人手不足後継者不足が顕著となつてきている。  
私は、その期、その期でそれぞれ、目標を立てて、その挑戦をしてきた。その全てがうまくいったわけではない。



それは、私の力不足とあわせ、世の中がそういう状況にならなかったというようなこともあると思う。  
そのような中で、安心して暮らせるまちづくりに、これからも頑張りたい、宿泊施設の誘致を含めた、新たな企業誘致を積極的に行い、加えて官民一体となった、外国人労働者の教育、就労といった受け入れ体制を確立し、人口減少の歯止め、雇用の確保に努めていきたいと思う。  
今後も、町政運営に当たらせていただくべく、来年1月の町長選に挑戦させていただきたいと考えている。



石田 みどり 議員

- 1. 町民の要望等にどう対処されているか
- 2. 子育て支援策として高校卒業までの医療費を無料に
- 3. 若い人の移住定住の施策は具体化されているのか空家バンクの現状は

町民の要望等にどう対処されているか  
 町民の方々からの要望については、行政通信を通じて受付を行っている。行政通信の回答については、期限を明記した上で回答を行う。

子育て支援策として高校卒業までの医療費を無料に  
 処理が早い時期に可能なもの、その年度末までに可能なもの、予算の関係で次年度予算に計画し実施するもの、次年度以降実施計画検討のもの、実施できないものに区分して回答を行っている。そのよう

若い人の移住定住の施策は具体化されているのか空家バンクの現状は  
 町内の各地域や行政通信等で、いろいろな要望が寄せられていると思うが、年間でどれ位の要望があがっているのか。又その要望についての実行率はどれ位なのか。ある地域で危険箇所へのガードレール設置が行政通信であ

問① 町内の各地域や行政通信等で、いろいろな要望が寄せられていると思うが、年間でどれ位の要望があがっているのか。又その要望についての実行率はどれ位なのか。ある地域で危険箇所へのガードレール設置が行政通信であ

この件については今までも2回質問をしている。町長の答弁では200万円あればできると試算をしているとの事だった。今でも変わりはないか。他の市町村も子育て策には力を入れて来ていて、茶北町が子育て策で抜き



町道風月線

町民の要望に対しては、個人であってもどのように対処しようとしているのか。途中経過でも報告する義務があると思う。そうしないと町に対しての不信感につながるのではないか。「ほうれんそう」報告。連絡連携。相談の意識付けができていないのではないか。

町民の要望に対しては、個人であってもどのように対処しようとしているのか。途中経過でも報告する義務があると思う。そうしないと町に対しての不信感につながるのではないか。「ほうれんそう」報告。連絡連携。相談の意識付けができていないのではないか。

若い人の定住移住については、各自自治体はあの手の手で行っている。茶北町も毎年毎年の人口は減る一方である。このような中で移住定住の施策はどのようなものがあり、それをどう具体化されているのか。高齢化の中で特にみかん農家やびわ農家等はやる気の

天草市長は高校卒業までの医療費無料化を宣言した。私も宣言する。所得の少ない人の分は高校卒業までの医療費を無料にする。

天草市長は高校卒業までの医療費無料化を宣言した。私も宣言する。所得の少ない人の分は高校卒業までの医療費を無料にする。

高校卒業までの医療費を無料にした場合の予算は約180万円必要になる。本町における子育て支援については、保育料等は国基準を大きく下回り他にも子育てしやすいようにしている。その他障害児保育や誕生祝金など独自の制度もあり、これらを総合的に見る必要があると考える。子育て医療制度は現制度で充分だと認識しておるが、収入の少ない世帯については検討していきたい。

若い人の定住施策については、結婚祝金を結婚後1年定住している人に支給している。空家バンクの現状は28年10月から、空家及び土地の所有者と町外からの移住を希望する方を結びつける事業に取り組んでいる。30年8月末現在の登録物件は14件。物件の紹介を希望している登録数は44名。雇用の問題が地域課題である。移住から定住につながる施策を組み合わせ検討する必要があり、提案のあった件も現在の施策と併せ検討

若い人の定住施策については、結婚祝金を結婚後1年定住している人に支給している。空家バンクの現状は28年10月から、空家及び土地の所有者と町外からの移住を希望する方を結びつける事業に取り組んでいる。30年8月末現在の登録物件は14件。物件の紹介を希望している登録数は44名。雇用の問題が地域課題である。移住から定住につながる施策を組み合わせ検討する必要があり、提案のあった件も現在の施策と併せ検討

若い人の定住施策については、結婚祝金を結婚後1年定住している人に支給している。空家バンクの現状は28年10月から、空家及び土地の所有者と町外からの移住を希望する方を結びつける事業に取り組んでいる。30年8月末現在の登録物件は14件。物件の紹介を希望している登録数は44名。雇用の問題が地域課題である。移住から定住につながる施策を組み合わせ検討する必要があり、提案のあった件も現在の施策と併せ検討

若い人の定住施策については、結婚祝金を結婚後1年定住している人に支給している。空家バンクの現状は28年10月から、空家及び土地の所有者と町外からの移住を希望する方を結びつける事業に取り組んでいる。30年8月末現在の登録物件は14件。物件の紹介を希望している登録数は44名。雇用の問題が地域課題である。移住から定住につながる施策を組み合わせ検討する必要があり、提案のあった件も現在の施策と併せ検討

# 奇岩おっばい岩のさらなる観光資源化について



廣田 幸英 議員

海に浮かぶ「海中鳥居」は国内にいくつもありますが、その中でもめずらしい、三基もの鳥居が潮の満ち引きによって様々な姿をみせるのが、佐賀県太良町にある「大魚神社」。そのかたわらには沖に向かつてのびる道路があり、海の影響を受け、満潮時には海中に隠れてしまうこともあり、この道路は漁業の荷揚げに用いられているもので、漁港のそばにある大魚神社の鳥居と並び、干潮時と満潮時には大きく異なる景色を見せてくれるそうだ。

おっばい岩付近への海中鳥居の設置については、観光施策として非常に重要なご提案をいただいたと思う。鳥居の設置については、色々な検討事項等があると思うが、今後、観光協会や地元の方々、関係機関などと打合せを行い、具体的に進めて参りたい。

おっばい岩付近への海中鳥居の設置については、観光施策として非常に重要なご提案をいただいたと思う。鳥居の設置については、色々な検討事項等があると思うが、今後、観光協会や地元の方々、関係機関などと打合せを行い、具体的に進めて参りたい。

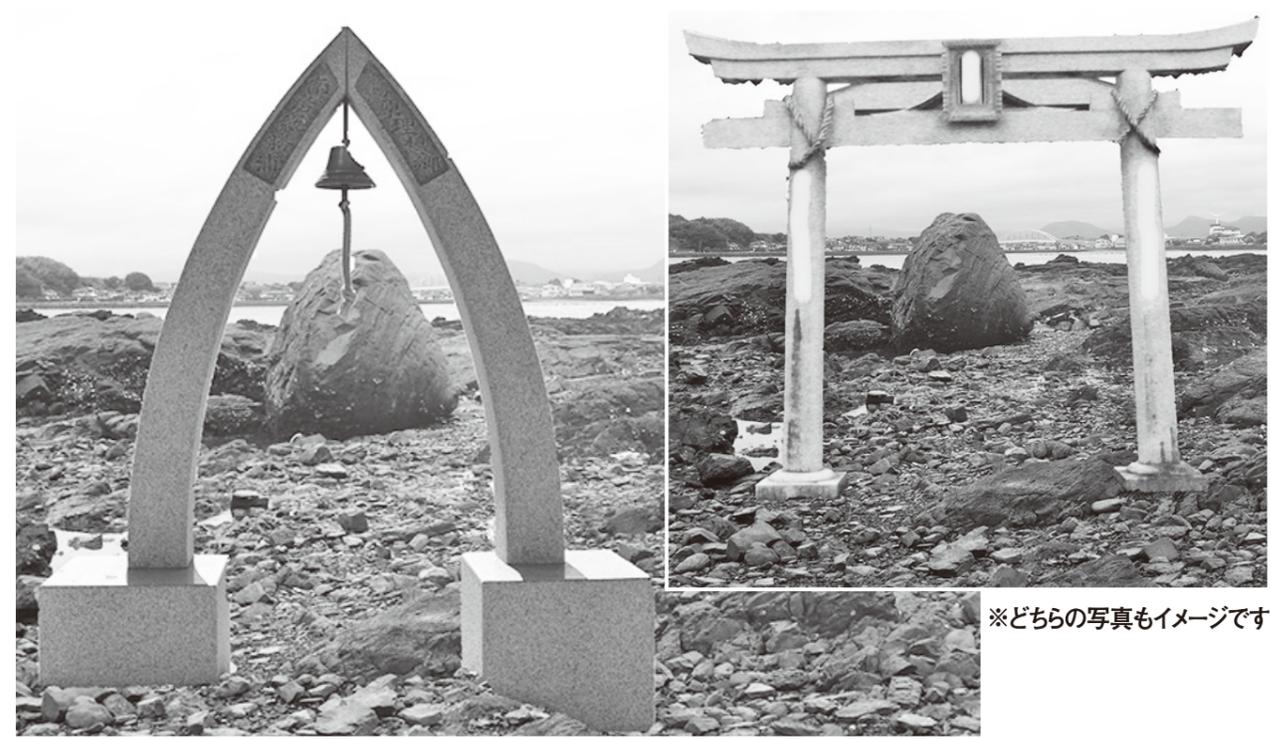
この奇岩、おっばい岩は、干潮のときにしか姿を見せないという、実に奥ゆかしい存在でもある。この奇岩、おっばい岩付近に、生命の躍動を表し、災いを防ぐといわれる、(海中)朱色鳥居を建てることによって、おっばい岩の神聖さが増し、今以上に神秘的、幻想的となり、さらなる観光資源となることは、間違いないと思っ

おっばい岩付近への海中鳥居の設置については、観光施策として非常に重要なご提案をいただいたと思う。鳥居の設置については、色々な検討事項等があると思うが、今後、観光協会や地元の方々、関係機関などと打合せを行い、具体的に進めて参りたい。

おっばい岩付近への海中鳥居の設置については、観光施策として非常に重要なご提案をいただいたと思う。鳥居の設置については、色々な検討事項等があると思うが、今後、観光協会や地元の方々、関係機関などと打合せを行い、具体的に進めて参りたい。

おっばい岩付近への海中鳥居の設置については、観光施策として非常に重要なご提案をいただいたと思う。鳥居の設置については、色々な検討事項等があると思うが、今後、観光協会や地元の方々、関係機関などと打合せを行い、具体的に進めて参りたい。

おっばい岩付近への海中鳥居の設置については、観光施策として非常に重要なご提案をいただいたと思う。鳥居の設置については、色々な検討事項等があると思うが、今後、観光協会や地元の方々、関係機関などと打合せを行い、具体的に進めて参りたい。



※どちらの写真もイメージです



田嶋豊昭 議員

# ○農業次世代人材投資資金 (旧青年就農給付金)制度について

## ○白木尾海岸背後地の 保全対策について

**問** 45歳未満の青年就農者の就農後の定着を図ることを目的に、平成24年度から国が始めた制度で、就農前の研修期間中の最大2年間及び、経営が不安定な就農直後の最大5年間の生活費に相当する所得確保を支援するため、対象者一人あたり年間最大で150万円を支給することになっている。制度開始当初は、農業後継者が親元就農する場合は対象となっていなかった。平成26年度からは親元就農する場合にあっても対象となるよう要件が緩和されたところである。しかし、5年以内に経営を継承することや親の経営から独立した部門経営を行うことが要件とされている。農業を次の世代が引き継いでいくために、この資金をより利用しやすくするように、国に対しての制度の改善を求めたい。町としての見解を求めたい。

**町長** 現在、町内でこの資金の対象者は、4名いる。また、町外からUターンした手続き中の方が1名いる。形態としては、全員「経営開始型」で

一簡単に離合できる箇所を通行止めにするのは反対である。「東側石垣はそのままに、通行止めにならない整備はできないか。」等の反対意見が出された。このような一番大事な地域住民への説明がまだまだ不十分ではないかと考える。

富岡新大手門広場整備事業の進捗状況と今後の整備事業の進め方について町長の見解を問う。

**町長** 新大手門公園整備事業については、富岡志岐地区都市再生整備事業の第1期計画

の平成20年度から21年度第2期計画の平成25年度から27年度にかけて整備を行ってきた。第3期計画については平成28年度から32年度にかけて整備を予定している。平成30年度については、新大手門建築設計業務委託料として、500万円、地質調査委託料として319万2千円、電柱移転補償費として、821万5千円の合計1,640万7千円を予定している。

新大手門については、新大手門建設等整備検討委員会において、大手門の規模や、形状等について、委員の皆様のご意見等を伺いながら、設計や地質調査業務を進めて行うと考えている。

また、電柱移転補償費については、現在、電柱の移設について、九電やN.T.T等と協議を進めているところである。交通等の協議についても、引き続き、天草警察署のご指導を頂きながら、遂行していくと考えている。

今後、住民の皆様へは、本事業に対するご理解とご協力をお願いしたいと考えている。



ミニトマトハウス栽培

この護岸整備完了によって、流失していた土地は復元されており、波による浸食はなくなったが、白木尾地区の背後地、農地の区間は、集中豪雨

**問** 白木尾海岸は平成12年度から16年度にかけて国の補助事業である県営工事で整備がなされたが、中間の部分は、背後地に住家がない等、整備がされていない。この間も波浪による浸食が進んでいたので、国・県への要望を続けていただき、平成22年度に単県での建設海岸保全事業として、整備を完了していた。

この護岸整備完了によって、流失していた土地は復元されており、波による浸食はなくなったが、白木尾地区の背後地、農地の区間は、集中豪雨

**町長** 海岸の背後地については、農地サイドから農業農村整備事業や、林野サイドからの治山事業などの採択の検討を県に要請し、現地確認してもらったが、県営事業での国の補助事業の採択には難しいとの回答だった。また、農地事業での整備となると、地元農家に大きな負担が発生することになる。

このままの状態では、白木尾台地の大規模な崩壊につながりかねないという危機感を持っており、地元地域と一体となり、危機感を持って取り組みをしていく必要がある。

今後も引き続き、あらゆる観点からの保全対策を、国・県に相談し、また同時に、採択にあたっての指導も受けながら、保全事業の採択となるよう最大限の努力をしていく。



野崎幸洋 議員

# ◎富岡新大手門広場整備事業の進捗状況と進め方は!?

- 最終的な構想が示されていない!
- 地域住民への説明がまだまだ不十分である!

**問** 富岡新大手門整備計画(工事費2億1150万円)についてはこれまでも数回に亘って一般質問してきた。これまでの答弁では、「平成32年度に完成を予定しており、地元住民皆様の賛意が必要と考えているので、引き続きご理解とご協力が得られるよう説明を続けていこうと考えている。」また、「迂回路については、更に検討を行い地権者へご理解とご協力をいただけるよう努力したい。」との答弁であった。

また、大手門の最終的な完成構想については、「可動式の大手門槽にするのか、道路中央付近まで石垣を接いで大手門を造るのかまだ決まっていない。当初、大手門の費用として7800万円を計画していたが多額と考え、富岡城の規模に見合った事業費に見直しを行う。」との答弁であった。

竣工まで約2年となった現在も最終的な構想が示されていない。

また、以前行われた地元説明会で「町道富岡中央線で唯



新大手門整備中の石垣工事東側(富岡2丁目)

の平成20年度から21年度第2期計画の平成25年度から27年度にかけて整備を行ってきた。第3期計画については平成28年度から32年度にかけて整備を予定している。平成30年度については、新大手門建築設計業務委託料として、500万円、地質調査委託料として319万2千円、電柱移転補償費として、821万5千円の合計1,640万7千円を予定している。

新大手門については、新大手門建設等整備検討委員会において、大手門の規模や、形状等について、委員の皆様のご意見等を伺いながら、設計や地質調査業務を進めて行うと考えている。

また、電柱移転補償費については、現在、電柱の移設について、九電やN.T.T等と協議を進めているところである。交通等の協議についても、引き続き、天草警察署のご指導を頂きながら、遂行していくと考えている。

今後、住民の皆様へは、本事業に対するご理解とご協力をお願いしたいと考えている。



西側築地堀

**町長** 検討委員会において、どの程度の大手門槽にするのか、また、道路については警察と十分協議した上で、住民に説明し、なるべく元の状況に近い形で大手門整備を進めたい。

**再問** 現状として、町が所有する施設等の維持管理費が年々増加している。この様な事を踏まえ、新たな事業に対する経費投入は見直すべきだと考える。多大な経費の掛かる、大手門槽の設置は行わず、案内看板等を設置し、現在の石垣のまま竣工を迎え人も車も通行できるような計画に見直す考えは?



浜口雅英 議員

**町長** 国土保全と言う事から考えても、国の政策が必要。

**町長** しかるべき課題が出てきた時は、それぞれの地域で開くのはやぶさかでない。

**問** 人口減少が進み、消滅可能自治体という言葉が絵空事で無くなって来た。人口減少対策に多様性を持ち具体的な計画と行動を起こせるPTを立ち上げる考えは。

**問** 水道、下水道、公衆用道路は建設後数十年を経過した。維持管理、補修、改修や、改築は。未使用の町有物件の

**町長** 町の歴史を活かした町づくりを推進する事を目標。

**問** 公共施設の維持管理等の見込み

**町長** 4月の豪雨により路肩が崩壊。延長は26m、国の査定が行われ復旧工法は補強土

**問** 今後の対応は。

**町長** 4月の豪雨により路肩が崩壊。延長は26m、国の査定が行われ復旧工法は補強土

**町長** 4月の豪雨により路肩が崩壊。延長は26m、国の査定が行われ復旧工法は補強土

**問** 今後の対応は。

**町長** 4月の豪雨により路肩が崩壊。延長は26m、国の査定が行われ復旧工法は補強土

**町長** 4月の豪雨により路肩が崩壊。延長は26m、国の査定が行われ復旧工法は補強土

**問** 今後の対応は。

**町長** 4月の豪雨により路肩が崩壊。延長は26m、国の査定が行われ復旧工法は補強土



高戸幸雄 議員



町道釜線城下橋付近

### 町道釜線の局部改良事業を

**問** 当該路線は、中央消防署茶北分署およびコミュニティセンターに接続する重要路線である。

しかし、終点部の城下橋前後が狭く離合の時民家の庭先に入ることもしばしばあるようである。最近まで、町道に接するよう家屋が立っていたが、解体除却処分され更地の状態となっている。道路地盤高と隣接用地の高低差も少なく、移転補償等の問題もさほどなく事業費も比較的少なくできるのではないか。以上の事柄を踏まえ、早急な対応を望む。

**町長** 本町道は、坂瀬川方面から、コミセンに至る場合、町内外の方に頻繁に利用されている路線であると認識して

いる。指摘の区間については、車両の離合が困難であると思われる。今後、財政状況を見ながら、離合箇所の確保等について検討を行う。

**再問** 本路線は、茶北分署を起点として、緊急時及び非常時において一刻も早く救助等に向かうためには是非改良が必要である。今後の財政事情を見ながらの検討とあるが、「緊急防災・減災事業債」として該当できないか。

**町長** 当町は、被災地以外で最初に「防災・減災事業債」の指定を受けた。起債元利の7割が補填される。事業費がわかっているため、まずは事業費の洗い出しを行い早い機会に検討する。

**問** 本被災箇所は、平成29年8月豪雨により法面が被災し、遊具場と付近の家屋への影響を鑑み応急対策として「トン袋」による工事が施工されている。一年を経過したが、今後の姿が見えない。多額な投資を行いスポーツ振興と地域間交流を進める一方で、直近の被災箇所一つでさえ応急対策で処理する姿。防災の充実を図るなら早急に万全な策を講ずる必要があるのではないか。

**町長** 当該被災箇所は、昨年8月豪雨により被災したため、土砂撤去、法面整形、支障木の伐採等を行い、住宅敷地内への土砂流入を防ぐため大型土のうを配置し復旧措置を行った。

今後、法面保護のため伐採等を計画している。

**再問** 検討をすることは、確かに必要であるし、是非とも行うべきである。サッカー場の整備と比較するとあまりに

**非常時の雑用水を確保するために**

**問** 災害及び非常時に雑生活用水の確保を目的とした仮称「災害応急用井戸」を指定避難施設に公費を投入して設置を図るべきだと考えるが如何か。その場合は、停電等不測の



法面被災状況

家庭用井戸についても相談していく考えである。

**町長** 地域防災計画の中で、非常時の給水計画を定めている。計画では、災害のため生活用水が得られない場合の必要量を定めている。被害が全町的に及ぶ災害が発生した場合には、県または近隣の自治体への応援要請を行う必要がある。いずれにしても、災害時における水の供給は、大変重要な対策である。応急用井戸の設置については、今後検討していく。

### 豪雨災害による被災箇所(麟泉運動公園下遊具場)に対する今後の対応

**問** 本被災箇所は、平成29年8月豪雨により法面が被災し、遊具場と付近の家屋への影響を鑑み応急対策として「トン袋」による工事が施工されている。一年を経過したが、今後の姿が見えない。多額な投資を行いスポーツ振興と地域間交流を進める一方で、直近の被災箇所一つでさえ応急対策で処理する姿。防災の充実を図るなら早急に万全な策を講ずる必要があるのではないか。

**町長** 当該被災箇所は、昨年8月豪雨により被災したため、土砂撤去、法面整形、支障木の伐採等を行い、住宅敷地内への土砂流入を防ぐため大型土のうを配置し復旧措置を行った。

今後、法面保護のため伐採等を計画している。

**再問** 検討をすることは、確かに必要であるし、是非とも行うべきである。サッカー場の整備と比較するとあまりに

も当該箇所に対する考えに大きな違いがあるように思う。再度考えを伺う。

**担当課長** 当面法面の状況については改めて検討を行い周辺の大きな樹木については、早急に伐採を行う。

**町長** 地域防災計画の中で、非常時の給水計画を定めている。計画では、災害のため生活用水が得られない場合の必要量を定めている。被害が全町的に及ぶ災害が発生した場合には、県または近隣の自治体への応援要請を行う必要がある。いずれにしても、災害時における水の供給は、大変重要な対策である。応急用井戸の設置については、今後検討していく。

事態を考慮して、手押しポンプ式による揚水を考えるべきである。将来は、各家庭が所有されている「井戸」についても、災害協力用井戸の名のもと協力を訴えていく必要があるのではないか。

**町長** 地域防災計画の中で、非常時の給水計画を定めている。計画では、災害のため生活用水が得られない場合の必要量を定めている。被害が全町的に及ぶ災害が発生した場合には、県または近隣の自治体への応援要請を行う必要がある。いずれにしても、災害時における水の供給は、大変重要な対策である。応急用井戸の設置については、今後検討していく。

# 町民の声 町議会を傍聴して

茶北中学校1年 坂口 杏鈴 あんり

議会の方々は、話し合う内容を時期や実施する理由、規模、改善案などを具体的に話して話を聞いていただきました。さらに、子どもから高齢者の方までの幅広い年代のことを考え、イノシシや人口減少、水道、児童の荷物の負担など、町民一人一人の未来を考えてありました。特に、私たちが書いたアンケートも考える材料にもなっていたことを知れて嬉しかったです。荷物の負担に関しては、毎朝、志岐の町の道路に365日、立っていらつしやう、私たちの安全を見守られているから発言できることだと思いました。

茶北町の目標は「安心して過ごすことができる茶北町」であり、茶北町がどのような未来の茶北町なのか考えられていました。これからの未来のための話し合いを聞くことができて良かったです。私が茶北町のためにできることがあれば実践したいです。

茶北中学校1年 森 ひなた

今日、町議会を傍聴しに行ったとき、私たちが着いた時間帯は休憩中の、とてもリラックスした様子でした。しかし、議会がスタートすると、議員さんから「返答になっていないでしょう。しっかりと答えてくださいよ。」等の言葉が見られ、本気の想いが伝わり町への熱い想いが伝わってきました。

また、初めて傍聴したため議会について知ることが多くありました。議員一人あたり30分以内の一般質問があること。すべての人が敬語を使われていること。議長が会の流れを作っていること。時間はベルで知らせていることなど知ることができました。

応答するときは、新聞やニュース、住民の声などの色々なデータ、立場から考えられており、熱い想いにびっくりしました。これからも茶北町のために頑張りたいです。



松本良人 議員

**問** 何時おそってくるかわからない台風や大雨による土砂災害、洪水、河川の氾濫には万全な対策が必要である。

**答** このような近況の中、次の点についてたずねた。

**再問** 区域でない箇所を検討し、更に捕捉した流木等の除去作業に適した箇所として、当該箇所を選定した。

**再問** ○上下流における、流量は計算されたか？○完成後の、災害発生は、人災となる恐れは無いのか？

**問** ○松原川護岸は何時出来る？

**答** 町道松原線終点部と松原川と接する箇所に、約5m河川護岸が低い所があり、増水すると背後の家屋はもとより周辺一帯多大な被害が及ぶおそれがあると思われる。土のうが置かれているが、町道松原線の路面高と護岸の天端までの高さが1m4〜50cmあり土のうでの対応は無理ではないか。

**問** ○小路川の流木止め大丈夫？

**答** 先の大雨の時、町河川小路川の沖田橋の橋桁に流木が引っかけり隣の土地が水没し家屋や、農地に膨大な被害をもたらした。この事により、昨年に流木捕捉工が流れてきた竹木等をくい止めるために建設されたが、大雨により流れてきた竹木が引っかけた場合、河川の水はせき止められ兩岸が低いと氾濫する。

**問** 今回建設されている流木捕捉工の設置場について、どのような経緯で選定されたかお尋ねする。

**町長** 河川断面等の結果をもとに、山腹斜面区間や土石流

**町長** 河川管理者の熊本県に要望を行っている。川へ降りる階段、町道、県道からの雨水対策等地元意向を確認の上、検討させていただきたい。

**再問** ○複数の議員から質問、

**町長** 河川管理者の熊本県に要望を行っている。川へ降りる階段、町道、県道からの雨水対策等地元意向を確認の上、検討させていただきたい。

要望が成されているが一向に進展しないのは？○小路川と松原川が同時に氾濫した場合坂瀬川の中心部は壊滅的な被害を受けるのでは？○これまで、国、県管理と説明し、責任逃れが行われてきた。町は町民を守って頂きたい。

**問** ○林道の茶北天草線災害復旧工事で都呂々川は大丈夫？

**答** 林道災害復旧工事の施工に伴い、河川に流入する雨水の形態は変化すると思われる。近年の異常気象による雨の降り方はこれまでに経験した事のない豪雨が予想される。災害箇所の河川の合流地点上流は、かなりの急な河川であり、増水すると一気に都呂々川に流れ込む事になる。県道に架かる涼松橋の上下流部の河川護岸は、災害により被災したと見られる箇所が点在している。都呂々川の現状をどう考えているか？

**町長** 工事箇所の配水対策、また洗掘防止のための対策町単独で工事を行う。異常気象による豪雨での影響が懸念されるので、工事完了後も監視が必要であると考

えている。

治山施設、都呂々川について関係機関に対策の確認を行っている。

**問** ○国道389号(竹の迫)安全安心は？崩壊に不安

**答** これまで法面や山肌の崩壊によりたびたび通行に支障を及ぼしてきた。迂回路の町道狸川内線も災害が発生するため、志岐、都呂々間通行が出来ない。唯一、災害が少ない町道濁淵線があるが、一部未舗装の所もある。この町道濁淵線については、重要性を訴えてきたが、まったく手がつけられなかったため、普通乗用車等のスムーズな通行は出来ない。どう考えているか？また、過去の年度別、国道389号崩壊の状況、交通規制についてお尋ねする。

**町長** 安全な通行の確保のために県及び国に対し予算確保と事業完了を要望していく。

**再問** ○2年前には、都呂々

崩壊状況、交通規制

26年 崩壊2 全片通行止

27年 崩壊2 全片通行止

28年 落石 全 通行止

29年 崩壊 片 通行止

**町長** 陸域について、適正な管理に努めて行く。

**問** 富岡四季咲岬を中心に海中公園として指定を受け、関連施設として、遊歩道の整備や、駐車場、広場の整備をはじめ、ハマユウ、浜じんちよう、椿等の植栽や管理がなされ、観光の一端としてその役を担ってきた。しかし、富岡半島北部、西部一体駐車場、遊歩道は一部を除いてほとんど放置されている状態で、当時の面影はない。

近年、作られた観光もさることながら、自然を求めた観光客が増加の傾向にあると言われますが、現状と、今後の対応は？

**町長** 陸域について、適正な管理に努めて行く。

## 花の建設、涙の保全

**問** 富岡海域(海中)公園の現状と今後について

**答** 富岡四季咲岬を中心に海中公園として指定を受け、関連施設として、遊歩道の整備や、駐車場、広場の整備をはじめ、ハマユウ、浜じんちよう、椿等の植栽や管理がなされ、観光の一端としてその役を担ってきた。しかし、富岡半島北部、西部一体駐車場、遊歩道は一部を除いてほとんど放置されている状態で、当時の面影はない。

地区が孤立状態になった。せめて、救急車の通れる迂回路の整備を○一つ間違えば人命にかかわる様な、土砂崩れが発生している。交通規制や勧告はしければならないと思うが交通止めや、迂回路の指導、誘導はなされたか。